

# TREC-ATX compact

## THROTTLE ELECTRONIC CONTROL

この度は弊社製品<TREC-ATX compact>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はAT・CVT車のセンサー入力信号を独自回路により制御し、エンジンレスポンスを向上させるコントローラーです。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

**お願い!** 本製品は性能向上、適合追加の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

**警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。**

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品はAT・CVTの制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合がございますので十分慎重に取り扱して下さい。なを何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

**注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。**

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温度もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさせて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

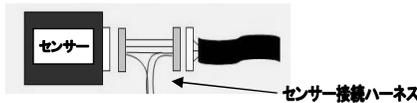
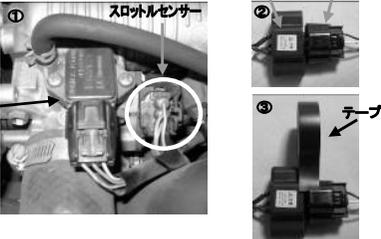
- 注意!**
- 取り付け作業は**キースイッチを抜いてから数分間はおこなわないで下さい。**(完全に電源がOFFになるまで)
    - キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両がある為
    - 電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』してしまうことがあります。
  - 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい。→バッテリーをはずした場合は(アイドリング学習)が必要となってきます。
  - 接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てまいります。この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなって下さい。

**【カプラーの接続方法】** エンジンルーム内のスロットルセンサーカプラーへ割り込み接続します。

**注意!** \* 作業は必ずキースイッチOFFの状態でおこなって下さい。

- ①エンジンルーム内のスロットルセンサーのカプラーを確認して下さい。(写真①)
 

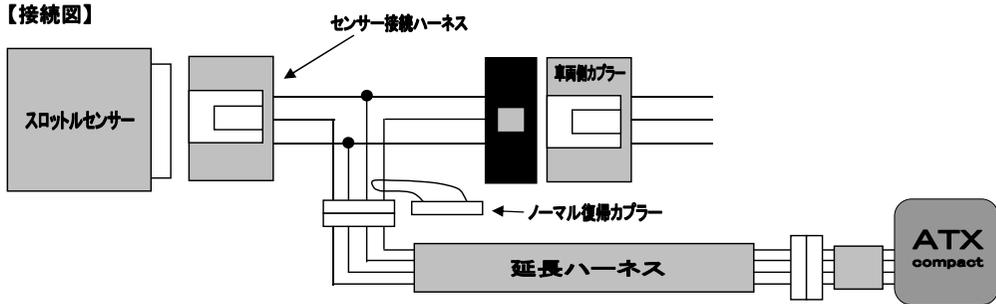
**注意!** \* スロットルセンサーと圧力センサーは近くにあります。スロットルボディー横に付いているカプラーです  
\* ホンダ車は圧力センサーも同形状のカプラーを使用しています。  
圧力センサーは<SENSOR A'ssy MAP>と記してあります。
- ②スロットルセンサーのカプラーを抜き、センサー接続ハーネスのカプラーに差し替えます。
  - 抜いたカプラーにも、センサー接続ハーネスのオス側を差込みます。
  - \* 必ずカプラーのロック部分とゴムに貼ってある黄色シール位置を合わせて下さい。(写真②)
  - センサー接続ハーネスのオス側は、カプラーを差した後にテーピングして下さい。(写真③)
- ③エンジンの補機類に干渉しないように、タイラップバンドにてハーネスを固定して下さい。



**【本体の接続・固定方法】** 本体はエンジンルームもしくは車内へ両面テープ等にて固定します。

**注意!** 作業は必ずキースイッチOFFの状態でおこなって下さい。

**【接続図】**



- ①上記接続図を参照に、センサー接続ハーネスと延長ハーネスと本体の4極カプラーを接続して下さい。
  - ハーネスの長さが足りている場合、延長ハーネスは使用しなくてもOKです。
  - ハーネスを点火系、インジェクター系のハーネスと抱き合わせると、ノイズの影響をうける可能性があります。十分に注意して下さい。
- ②本体をエンジンルームもしくは車内へ両面テープ等で固定して下さい。ハーネス類は運転の妨げにならないようにまとめて下さい。
- ③本体をエンジンルーム内に設置する場合は、下記点に注意して本体を固定して下さい。



上側  
↓  
下側

**注意!** 本体内部は完全な防水処理はおこなっていません! 必ず下記事項を参考に本体を固定して下さい。

- ◎ 熱、水のかからない場所を選んで、本体を固定して下さい。  
例. リレーBOX横
- ◎ 調整面を必ず上側に向け固定して下さい。  
→本体内部の水分が下側へ逃げるように設置して下さい。
- ◎ 調整面へ防水ゴムカバーを付けて下さい。  
→調整面に熱、水がかかるのを防いで下さい。

**【作動確認・調整方法】** 取り付け後、下記の確認・調整をおこなって下さい。

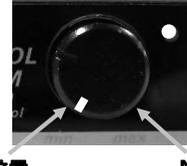
- ①配線終了後キースイッチをONにし、下記の動作になるかを確認して下さい。(エンジンは始動させません!)
  - 1) アクセルを全開の状態、本体のアクティブLEDが消灯しているか?
  - 2) アクセルをわずかに踏んだ時、本体のアクティブLEDが点灯するか?
  - 3) アクセルを全開にした時、アクティブLEDが消灯するか?
 →上記作動1)~3)にならない時は、ハーネスの接続状態、方向を再確認して下さい。



比率決定ボリューム

- ②エンジンを始動させ下記の確認をおこなって下さい。
  - 1) 正常にアイドリングするか? アイドリングが不安定な場合は下記の点を確認して下さい。
    - ハーネスの接続状態、方向を再確認して下さい。
    - 作業中にバッテリー端子をはずしてしまった→アイドリング学習が必要です。
    - アイドリング中にアクティブLEDが点灯する→弊社サービス課へ問い合わせ下さい。

- ③走行しながら加速・燃費を考慮した最適のボリューム位置を決定して下さい。
  - 反時計回りにいっぱい回した位置がノーマルです。
  - 右に回していくと下記の動作状態になり加速感が増します。  
→ノーマルより回転数が上がってからのシフトUP  
→1速ごとに十分に回転を引っ張ってからのシフトUP
  - アクセル開度約60~70%にてノーマル制御に戻ります。(アクティブLED OFF)
  - 調整は31段階の調整が可能です。



ノーマル位置

MAX位置

**注意!** 設定ミスをするとうエンジンチェックが点灯して走行不能になる場合があります。調整は慎重におこなって下さい。

**【トラブルチェック】**

**<アイドリング不調>**

- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまった時はアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

**<エンジンチェック点灯、吹けあがらない>**

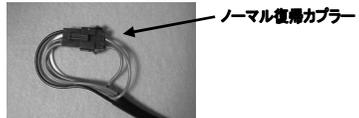
- 配線の接触・配線位置を再確認して下さい。

**<作業中のミス等にてエンジンチェックが消えない場合>**

- カーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。
- バッテリーを20~30秒はずすことにより消える車両が多くあります。注意! この場合アイドリング学習が必要な車両があります。
- 正常状態にて走行し、3~5回走行→エンジン停止を繰り返すと自動的に消える車両が多くあります。(参考)

**【ノーマル復帰方法】**

- 万が一、エンジン不調等の症状がでる、エンジンチェックランプが点灯する場合は、下記の要領にてノーマル状態へ戻して走行して下さい。



- ◎ センサー接続ハーネスの4極カプラーより、ATXの4極カプラーを抜き、センサー接続ハーネス側へノーマル復帰カプラーを差しなおして下さい。

**ノーマル復帰しても不調の状態が直らない時は?**

- ◎ センサー接続ハーネスをスロットルセンサーより抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。
- ◎ 完全にノーマル状態にしても不調の場合、ATXの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

**重要!** センサー接続ハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用した場合にハーネス類が損傷し

接触不良をおこす可能性があります。必ず2年以内に新品と交換して下さい。(税抜き ¥3,800)